

平成24年度「重点研究費」研究成果報告書

研究課題	機関連携による高度実践型教師教育の実証研究
------	-----------------------

研究代表者

氏名 三石 初雄	所属 教員養成カリキュラム開発研究センター	職名 教授
-------------	--------------------------	----------

研究分担者

氏名 岩田康之	所属 教員養成カリキュラム開発研究センター	職名 教授
上杉嘉見	同上	准教授
前原健二	同上	准教授

【研究成果の概要】 (文字の大きさ9ポイント・字数800字～1600字程度)

中央教育審議会答申「今後の教員養成・免許制度のあり方について」(2006年7月)で「教員養成カリキュラム委員会」の設置が要請され、本学の「カリキュラム改革推進本部」のような組織が全国の課程認定大学に設置されつつある。しかしながら、特に中規模以上の、複数の教育組織にまたがる大学においては、教員養成教育に関わるカリキュラム、履修指導、対外連携、FD等の諸業務を統一的に運営する上での様々な課題が浮上している。

本研究では、こうした状況に鑑み、国内の中規模以上の国公立大学における教員養成教育のコーディネーターや研究機能を持つ諸組織(教職課程センター、教師教育研究センター等)の動向に関する実態調査を全国規模で行い、課題の析出と整理を行うとともに、各大学の協働によって教員養成教育の全体的な水準向上を目的とした連絡協議会的組織を構築することを企図している。

今年度は、中規模以上の総合大学を中心として、いわゆる教育系大学も含め、教員養成教育におけるセンター的組織の訪問調査を行い、今後の連携協力体制の構築に関する意見交換とこれらに関わる資料収集を行っている。

対象としたところは以下の5機関である。

- ・盛岡大学教師教育センター
(現職キャリアを豊富に有する人材のリクルートメントや待遇等の問題、地元の学校との連携・協働の問題、キャリア支援の実際、等)
- ・甲南大学教職課程センター
(特任身分の教員の雇用と業務の問題、教職課程と各学部との組織運営上の連携に関する問題等)
- ・関西学院大学教職課程研究センター(教育学部と教職課程研究センターとの関係、教職課程研究センターと各学部との関係、等)
- ・福島大学総合教育研究センター(教職履修の指導、実践体験・経験型プログラムの実施・運営、教育委員会との連携、等)
- ・兵庫教育大学学校教育研究センター(実地教育の実施と運営、附属学校や地元教育委員会との関係、学部教育と大学院における現職教員研修の関連等)。

研究成果発表方法

[発表論文名(口頭発表を含む)、氏名、学会誌等名(投稿中・投稿予定・執筆中)を記入する。]

※本経費を用いて、報告書(冊子等)を作成した場合には、本様式とともに1部を提出すること。

なお、提出された報告書は教育実践研究推進本部を通じて附属図書館へ寄贈する。

研究成果の発表に関しては、次年度以降に関連学会(日本教師教育学会、日本教育経営学会等)の大会等を行うことを予定している。